

一般質問

この課題に質問が集中

〔今冬の節電対策〕

三島喜吉議員



この冬

北海道では2010年と比

較して7%の節電が求められている。町としてどう取り組んでいくのか。

節電アクションプランとは、具体的な中身を。

節電アクションプランを役場から一般家庭・事業所に働きかけ、浸透させていくことが重要と考える。

笠原啓仁議員



札幌市

では一般家庭に節電を浸透させる誘導策として、節電にチャレンジする市民モニターを募集し、数値目標を達成した世帯に公共交通機関の乗車券を交付するなどの取り組みをしている。

この取り組みは、節電の推進とともに公共交通機関の利用促進とそれによる経済効果も期待できている。

福島町長

節電については、具体的なアクションプランが策定されているが、一事業所役場を中心とした公共施設でのことなので、このアクションプランをどう家庭に普及していくのか。

政府はこの冬の電力需給対策を策定。

北海道においては、寒冷地であり電力不足は住民生活や経済活動に甚大な影響を及ぼす可能性があることから、平成22年度比7%以上の節電目標

磯田龍一議員



札幌市

が設定された。北海道では、北海道経済産業局とともに、経済産業、消費者関係団体や医療、福祉団体、北電など構成する北海道地域電力需給連絡会を設置し北海道冬の安全プログラムを策定し節電に取り組むこととした。

本町においても、役場自ら事前対策として、冬の節電アクションプランを策定取り組むこととし、

節電への誘導策だが、広報やいろいろな場面で節電のお願いをしていることから、商品券や公共

基本的な取り組み内容としては、ピークカットを基本に実施する。

るとしている。

原発に依存しない社会を実現するためにも、恒久的な節電対策が必要だ

が、本町としても節電誘導策を導入し、町ぐるみで節電を推進すべき。

夏の節電アクションプランの効果・実績などを目標が達成できたのか。

俱知安町冬の節電アクションプラン

- 1 基本的考え方**
北海道が策定した「冬の安全プログラム」を基に、夏に効果があった取り組みで冬も引き続き実施が可能なものの徹底を図り、夕方以降の不必要な照明の消灯徹底、電気製品の運用方法の工夫など、職場環境や来庁者の負担に配慮しながら取り組むこととする。
- 2 期間**
平成24年12月1日（土）から平成25年3月31日（日）まで
- 3 対象施設**
町が所有する建物、又は機械・設備等、すべてを対象とする。ただし、来庁者、施設利用者及び業務に支障をきたす恐れがある部分は除く。
- 4 取組内容**
 - ・高圧受電施設については、ピークカットを基本に取組を実施する。
 - ・従量及び低圧施設については、使用電力量の抑制を基本に取組を実施する。
 - ・具体的な取組にあたっては、来庁者の理解が得られるよう周知を図る。

【共通】

 - 廊下・執務室照明⇒廊下・執務室の減灯
蛍光灯を半分程度間引きし減灯する。
 - 電気製品⇒使用方法の見直し
エタオルの使用を停止する。
温水洗浄便座は保温・温水の温度設定を下げ、不使用時はふたを閉める。
給湯器の間引き運転。
使用しない電気ポット、テレビなどの電気製品は、待機電力削減のためコンセントから外す。
電気ストーブの使用を禁止する。
 - OA機器⇒待機電力の削減
長時間席を離れるときは、パソコンの電源を切るか、スタンバイモードにする。
コピー機を省エネモードで使用する。
プリンタ共有機能の活用による使用台数の抑制。
 - 照明機器⇒LED照明の導入推進
白熱球は原則としてLED電球に交換し、蛍光灯は積極的にLED蛍光灯の導入に努める。
 - その他
執務室の保温性の向上に向けた取り組み
ウォームビズの推奨
- 5 目標**
平成23年12月から平成24年3月における使用最大電力に対し7%以上の削減を目指し、併せて使用電力量の7%以上の削減を目指して取り組むものとする。

総務課長

冬の節電アクションプランとしては、役場として12月1日から3月31日までとし、対象施設としては町が有する建物、機械設備のすべてを対象とする。

冬の節電アクションプランとしては、ピークカットを基本に実施する。



作井 繁樹 議員 … 1件の一般質問

より具体的な産業戦略構築のためには 何より現状を知ることが最も重要

町長：いろいろな制度を借りるなど、もう少し検討したい

作井 中小企業振興基本
戦略の構築には、何より
現状を知ることが最も重
要、本町の産業戦略の現
状認識を伺う。

町長 個人消費の冷え込み、景気低迷の状況のもと、地元商店街活性化のために各種事業を実施、他にも商工会議所が行う経営相談などの各種事業に対しても助成を行い、中小企業の振興を推進している。観光産業については今後も俱知安観光協会、さらに広域での連携としてニセコ町を始め、小樽、後志との連携を継続し、広域観光の振興を推進していくと考えている。

作井 新たな取り組みの第一歩として町民経済計算推計、俱知安町内における経済活動を生産、分配の面から調査、推計を行うべき。現状を知ることと、本町経済の健康診断、特定健診として、

町長 鋸路、根室地域で域内循環分析調査においては4000万円、非常に経費がかかる。調査の重要性は十分認識しているが、本町が自前で実施することは非常に難しい。今後、国、また北

作井 中小企業振興基本条例制定後は、より具体的な産業戦略が求められる。具体的な産業戦略の構築には、何より現状を知ることが最も重要、本町の産業戦略の現状認識を伺う。

町長 この調査は非常に専門性が高く、専門スタッフを配置しても時間がかかる。重要性は十分認識しているが、正確に数値化されたものは今のところない。したがって、効果的な産業戦略、地域政策に繋げて行く面でも限界があつたと感じている。

作井 経済計算推計により、本町の産業戦略に観光産業が欠かせない存在であることが明確になる、その観光産業経済効果の町内循環を高める戦略が重要、そのためには欠かせない域内循環分析調査を行うべき、見解を伺う。

町長 十分にわかった。直ぐということにはならないと思うが、北洋銀行と調査提携するなど、いろいろな制度を借り、良いメニューがあればぜひ取り掛かってみたい、もう少し検討したい。

作井 金はかかるし手間もかかるが、それだけの価値はある。ニセコ地域の経済効果は900億円とも言われている、その経済効果を少しでも取り込もうと考えれば4000万円の投資が高いに安いか、商売をしていた町長であればよくわかるはず、方向性だけで示すべき、見解を伺う。



にぎわいを見せるひらふスキー場

田中 義人 議員 … 2件の一般質問

今こそあえてスキーの町として スキー・スノーボード振興を行うべき

町長：議員の提案を含め、底辺拡大に向けて検討する



| | 教育長 |
|--------------|-----------|
| ①平成24年度、町 | ①平成24年度、町 |
| 技普及振興費 | 技普及振興費 |
| 42万9000円、ほと | 19 |
| んどが旭ヶ丘スキー場に | |
| 関する運営経費。その他、 | |
| 各種大会への補助金、少 | |
| 年団育成費、スキー教室 | |
| などの事業にも補助して | |
| いる。 | |
| ②収入は379万500 | |
| 0円、利用者数約11万9 | |
| 000人。 | |
| ③把握しているのは2人。 | |
| ④平成23年度、利用者数 | |
| 4628人。 | |



旭ヶ丘スキー場でのスキー大会

| 町長 |
|--------------|
| ①年内に契約予定。 |
| ②2億5000万円、 |
| 一坪41万円。 |
| ③協議が整った時点で覚 |
| 書を交わしており、雇用 |
| 拡大などを期待している。 |
| ④公共施設整備基金の積 |
| み立てと考えているが、 |
| 観光振興という要望も十 |
| 分承知している、関係各 |
| 位の意見なども踏まえ判 |
| 断したい。 |

スキーの町を宣言し、スキーを町技と定めている本町としては、この現象は寂しい限りではあるが、今こそあえてこの町としてスキー、スノーボードの振興を行うべきではないか。

①現在のスキー振興予算
②旭ヶ丘スキー場の收支
③全日本強化指定選手数
④体育館トレーニングルームの利用状況など
それぞれ実績を伺う。

子供たちへの振興策として、旭ヶ丘スキー場の無料化と雪ん子館の機能見直し、一定基準以上の強化指定選手などへの遠征費補助、体育馆トレーニングルームの設備更新、並びに無料開放など、効果的な方策

だと考えるが、見解を伺う。
町長：スキーの町として議員の提案を含め、スキー人口の底辺拡大に向けて、検討が必要と考えている。

普及振興策を検討する。
議員からの提案も、次のステップの検討材料にしておきたい。

新たな戦略を持つことが必要と認識しております、今後とも町技

ひらふ坂沿線の町有地おおよそ500坪が分譲型ホテル用地として譲渡されることが報告されたが、地元の観光業者のみならず、町内の商工業関係者からも関心の声が寄せられている。

①正式契約の時期
②売却金額
③売却に当たり、開発に伴う工事の町内業者への発注、開業後の町民雇用促進などの協力要請
④売却金額相当額の使い道など

それぞれ見解を伺う。

ひらふ坂沿線の町有地おおよそ500坪が分譲型ホテル用地として譲渡されることが報告されたが、地元の観光業者のみならず、町内の商工業関係者からも関心の声が寄せられている。

ひらふ坂沿線の町有地おおよそ500坪が分譲型ホテル用地として譲渡されることが報告されたが、地元の観光業者のみならず、町内の商工業関係者からも関心の声が寄せられている。



伊達 隆 議員 … 1件の一般質問

わが町の基幹産業のひとつである農業、平成25年度予算にて支援強化が必要

町長：土づくり対策については予算増額を考えている



クマなどから作物を守る電牧柵

伊達 土づくり対策について、安全・安心な農作物を育てるために堆肥、緑肥作物導入、土壤分析等は重要。基幹作物であるバレイショのシストセンチュウ対策については、抵抗性品種の導入や薬剤購入経費に支援を続けるべき、見解を伺う。

伊達 烏獸害対策について、電牧柵の設置は一定の効果が確認されおり、食害被害軽減のために補助金の継続は必要、見解を伺う。

町長 土づくり対策については、平成25年度は予算増額を考えている。抵抗性品種導入などには補助しているが、薬剤の購入費用の助成についても検討する。

町長 本年もクマなどによる食害防止のための電牧柵の購入に、

A ようてないとあわせて補助してきたが、平成25年度も引き続き食害の防止に努める。アライグマの駆除講習会なども引き続き実施する。

伊達 農業委員会の体制強化について、優良農地を確保し、担い手の育成、地域農業振興や農業者年金の今後、業務量が増加すると考えられる。人員体制の整備や予算措置の支援強化が必要、見解を伺う。

伊達 農業委員会の体制強化について、優良農地を確保し、担い手の育成、地域農業振興や農業者年金の今後、業務量が増加すると考えられる。人員体制の整備や予算措置の支援強化が必要、見解を伺う。

伊達 偶蹄類飼料者に対して、必要な応じて消毒機材の貸し出しを行っている。今後も各関係団体と密接に連携をとりながら、家畜伝染病予防対策を取り進めしていく。

伊達 酪農畜産振興対策について、周辺諸外国において今も口蹄疫の発生が見られており、後志管内においても口蹄疫の発生があり、日ごろから衛生管理を十分にする必要がある。最近は気温の下がる冬期間にも伝染病の発生がまま見られ、病原菌の効力も強く、年間を通じていろいろな対策をしていかなければこの伝染病を防ぐことは難しい。消毒剤等の助成継続が必要、見解を



花園牧場で放牧される牛

阿部 和則 議員 … 1件の一般質問



中心市街地活性化、新幹線を核としたまちづくりの基本となる「住宅ミックス」を

町長：貴重な意見、関係部署担当者に視察させたい

阿部 四国高松市丸亀町商店街を視察に行つた、唯一日本で再生について成功している商店街、再生として取り組んだのがお年寄りを中心とした街中居住。1階には商業施設、2階以上にはクリニックや高齢者向けのマンションをつくるとしたが、ふと商店街を見回すと高齢者が必要としているお店がなくなっていた。

そこで、高齢者が必要とするお店をテナントとして入っていただき、テナントの入れかえがテナントミックス。わが町に目を移すと、23年後の新幹線駅開業を見据え、基線通と5号線南3条通の500メートル角をどう開発していくのかの議論が始まつた。残念なことに商店街はほとんど沈没寸前、このゾーンに住んでいた高齢者も雪が嫌でどこかに逃げ出したい、その一方この便利な場所に住みたい、

は商業施設、2階以上にはクリニックや高齢者向けのマンションをつくるとしたが、ふと商店街を見回すと高齢者が必要としているお店がなくなっていた。

子育てする広い家がほしい、雪は気にならない若い世代がたくさんいることも事実、ここでテナント・住宅・土地のミックスが生まれると思っていた

る。

商店街は町の顔、活気がないではウェルカムのハートが生まれるわけがない、だからこの500メートル角については、行政がしっかりと計画と責任を持ち、にぎわいと活気を取り戻さなくてはいけない、どう作り直すのか、見解を伺う。

それに連動した中心市街地活性化の検討が本格化することが、そのタイミングと考えられる。議員の提言は高齢者の理想郷、しかし至難の技、良い知恵を出し合いたい。

町長 本町の中心市街地については新幹線が来ることが決まり、20年後の俱知安町がどう変わると想像しようというテーマで、ワーケシヨップを開催、また、北海道新幹線俱知安駅周辺整備計画にかかる中心市街地活性化について、府内関係部署の担当者が集まり打ち合わせを行っている。議員の提言、それを進めるには、北海道新幹線札幌延伸着工、高速道路環境調査着手、

阿部 当然、土地の問題が出てくる。丸亀町商店街は60年のスパンで地権者から土地を借りる、土地を持つ所有権から利用権にかえ、そこに商業施設や住宅を建て、上がった利益配分を地権者にするという形で100%地権者から同意を得ている。

大事なことは、是非とも丸亀町商店街に行つて現地を見ること、関係部署担当者の視察予算を措置すべき、見解を伺う。

町長 本当に理想郷、非常に貴重な意見だつた、関係部署担当者に視察させたいと思う。



商店街の再生に成功した四国高松市丸亀商店街